

I. 活断層で発生する地震の発生確率値の更新前後の比較(算定基準日 令和4年(2022年)1月1日)

	2021年1月1日時点の評価	2022年1月1日時点の評価
庄内平野東縁(北部)	Zランク	Zランク
経過率	0.08-0.1もしくはそれ以上	0.09-0.1もしくはそれ以上
六日町	Zランク	Zランク
(北部(ケース2))		
経過率	0.004-0.005もしくはそれ以上	0.005-0.006もしくはそれ以上
伊勢湾(主部/南部)	Zランク	Zランク
100年	ほぼ0%-0.009%	ほぼ0%-0.01%
山田(郷村)	Zランク	Zランク
経過率	0.006-0.009	0.006-0.01
穴甲・淡路島	Zランク	Zランク
(主部/淡路島西岸)		
経過率	0.01	0.01-0.02
中央構造線	Aランク	Aランク
(讃岐山脈南縁西部)		
100年	ほぼ0%-2%	ほぼ0%-3%

■ Sランク(高い): 30年以内の地震発生確率が3%以上
■ Aランク(やや高い): 30年以内の地震発生確率が0.1~3%未満
■ Zランク: 30年以内の地震発生確率が0.1%未満
■ Xランク: 地震発生確率が不明(過去の地震データが少ないため、確率の評価が困難)
 算定基準日における地震後経過率が0.7以上である活断層については、
 ランクに「*」を付記する。
 Zランクでも、活断層が存在すること自体、当該地域で大きな地震が発生する可能性を示す。

	2021年1月1日時点の評価	2022年1月1日時点の評価
鹿野-吉岡	Zランク	Zランク
経過率	0.008-0.02	0.009-0.02
山崎(主部/北西部)	Aランク	Aランク
100年	0.4%-4%	0.5%-4%
万年山-崩平山	Zランク	Zランク
50年	0.007%以下	0.008%以下

※活断層評価備考

- ここに掲載しているものは、再計算等の結果、発生確率値の表記に変更のあったものである。
- 確率値は、有効数字1桁で記述している。ただし、30年確率が10%台の場合は2桁で記述する。
- 括弧「()」の値は、参考値として確率の計算値を表したものである。この値は有効数字1桁(または2桁)で示す確率値より、下位の桁の値を含んでいる。

II. 海溝型地震の発生確率値の更新前後の比較(算定基準日 令和4年(2022年)1月1日)

	2021年1月1日時点の評価	2022年1月1日時点の評価
千島海溝	III * ランク	III * ランク
超巨大地震(17世紀型) (M8.8程度以上)		
平均発生間隔	約340年~380年	1.01~1.19
経過率	1.01~1.19	
10年	2%~10%	2%~10%
20年	5%~30%	5%~30%
30年	7%~40%	7%~40%
40年	9%~50%	9%~50%
50年	10%~60%	10%~60%
100年	20%~80%	20%~80%
300年	40%~90%程度以上	40%~90%程度以上
十勝沖	II ランク	II ランク
(M8.0~M8.6程度)		
平均発生間隔	80.3年	
ばらつき α	0.38	
経過率	0.22	0.23
10年	0.2%	0.3%
20年	3%	3%
30年	10%程度	10%程度
40年	20%程度	20%程度
50年	40%程度	40%程度
100年	90%程度	90%程度
300年	90%程度以上	90%程度以上
根室沖	III * ランク	III * ランク
(M7.8~M8.5程度)		
平均発生間隔	65.1年	
ばらつき α	0.22	
経過率	0.73	0.75
10年	30%程度	30%程度
20年	60%程度	60%程度
30年	80%程度	80%程度
40年	90%程度	90%程度
50年	90%程度以上	90%程度以上
100年	90%程度以上	90%程度以上
300年	90%程度以上	90%程度以上

■ IIIランク(高い): 30年以内の地震発生確率が26%以上
■ IIランク(やや高い): 30年以内の地震発生確率が3~26%未満
■ Iランク: 30年以内の地震発生確率が3%未満
■ Xランク: 地震発生確率が不明(過去の地震データが少ないため、確率の評価が困難)
 算定基準日における地震後経過率が0.7以上である海溝型地震については、
 ランクに「*」を付記する。

	2021年1月1日時点の評価	2022年1月1日時点の評価
日本海溝	I ランク	I ランク
超巨大地震(M9.0程度)		
平均発生間隔	約550-600年	
経過率	0.02	0.02
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%-5%	ほぼ0%-5%
青森県東方沖及び 岩手県沖北部(M7.9程度)	III ランク	III ランク
発生間隔	97.0年	
ばらつき α	0.11-0.24	
経過率	0.54	0.55
10年	0.004%-4%	0.007%-4%
20年	0.5%-10%	0.7%-10%
30年	(0.5%-13%)	(0.7%-14%)
40年	8%-30%	10%-30%
50年	(8.0%-28%)	(9.7%-30%)
100年	40%-50%	40%-50%
300年	60%-70%	70%程度 (65%-74%)
宮城県沖の陸寄りの地震 (M7.4前後)	III ランク	III ランク
発生間隔	38.0年	
ばらつき α	0.1-0.24	
経過率	0.26	0.28
10年	ほぼ0%-0.4%	ほぼ0%-0.7%
20年	0.9%-20%	2%-20%
30年	(0.9%-18%)	(2.0%-22%)
40年	60%-70%	70%-80%
50年	(62%-70%)	(66%-77%)
100年	90%程度もしくはそれ以上	90%程度もしくはそれ以上
300年	90%程度以上	90%程度以上

相模トラフ	2021年1月1日時点の評価	2022年1月1日時点の評価
次のM8クラス	II ランク	II ランク
平均発生間隔	180-590年	
経過率	0.16-0.54	0.17-0.55
10年	ほぼ0%-2%	ほぼ0%-2%
20年	ほぼ0%-4%	ほぼ0%-4%
30年	ほぼ0%-6%	ほぼ0%-6%
40年	ほぼ0%-8%	ほぼ0%-8%
50年	ほぼ0%-10%	ほぼ0%-10%
100年	ほぼ0%-30%	ほぼ0%-30%
300年	ほぼ0%-80%	ほぼ0%-80%

南海トラフ	2021年1月1日時点の評価	2022年1月1日時点の評価
M8～M9クラス	III * ランク	III * ランク
平均発生間隔	88.2年	
ばらつきα	0.20-0.24	
経過率	0.85	0.86
10年	30%程度	30%程度
20年	50%-60%	50%-60%
30年	70%-80%	70%-80%
40年	80%-90%	90%程度
	(84%-90%)	(85%-90%)
50年	90%程度もしくはそれ以上	90%程度もしくはそれ以上
100年	90%程度以上	90%程度以上
300年	90%程度以上	90%程度以上

日本海東縁部	2021年1月1日時点の評価	2022年1月1日時点の評価
北海道北西沖 (M7.8程度)	I ランク	I ランク
平均発生間隔	3900年程度	
ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	0.54	0.54
10年	0.002%-0.04%	0.002%-0.04%
20年	0.004%-0.07%	0.004%-0.07%
30年	0.006%-0.1%	0.006%-0.1%
40年	0.008%-0.2%	0.008%-0.2%
50年	0.01%-0.2%	0.01%-0.2%
100年	0.03%-0.4%	0.03%-0.4%
300年	0.2%-2%	0.2%-2%
北海道西方沖 (M7.5前後)	I ランク	I ランク
平均発生間隔	1400-3900年程度	
ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	0.02-0.06	0.02-0.06
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%	ほぼ0%
北海道南西沖 (M7.8前後)	I ランク	I ランク
平均発生間隔	500-1400年程度	
ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	0.02-0.05	0.02-0.06
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%-5%	ほぼ0%-5%

日本海東縁部	2021年1月1日時点の評価	2022年1月1日時点の評価
青森県西方沖 (M7.7前後)	I ランク	I ランク
平均発生間隔	500-1400年程度	
ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	0.03-0.08	0.03-0.08
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%-6%	ほぼ0%-6%
山形県沖 (M7.7前後)	I ランク	I ランク
平均発生間隔	1000年程度以上	
ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	0.19以下	0.19以下
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	0.001%-0.2%	0.001%-0.2%
新潟県北部沖 (M7.5前後)	I ランク	I ランク
平均発生間隔	1000年程度以上	
ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	0.06以下	0.06以下
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%	ほぼ0%

※海溝型地震備考

- ・ここに掲載しているものは、再計算を行ったもの全てである。
- ・水色で示した箇所が、再計算の結果、表記に変更のあったものである。
- ・確率値は、有効数字1桁で記述している。
- ・括弧「()」の値は、参考値として確率の計算値を表したものである。この値は有効数字1桁で示す確率値より、下位の桁の値を含んでいる。